

将来都市像設定の考え方

○将来都市像設定の前提条件

《将来都市像の役割と要件》

- ・総合計画の推進により実現を目指すまちの姿を明らかにするために「将来都市像」を設定する。
- ・まちづくり全体の目標としてふさわしく、市民にとって、目指しているまちの姿をイメージしやすく、将来に向けた希望とまちづくりに向けたメッセージ性を有したものとする。

《市政運営の方向性》

- ・「上越市の現状と今後の課題を踏まえたまちづくりの方向性」を踏まえ、これからの市政運営では、当市ならではの暮らしに着目した政策・施策展開を大切にしていく。

○上越市ならではの理想的な暮らしの状態

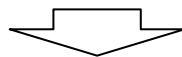
様々な個性を有するまちが一つとなり、自然環境と生活利便性が調和した総合力が高いまちとなった上越市が、地方中心都市としての機能を発揮し、市内外への求心力を高めていくことにより可能となる理想的な暮らしとはどのような状態か…

理想的な暮らしのイメージ

- ・生活に不可欠な安全性や安心感が確保されている
- ・心身ともに快適な環境が確保されている
- ・生活の糧となる働く場を選択することができ、かつ生きがいをもって働くことができる
- ・自然を身近に感じながらも、現代的な生活の中で必要な利便性が確保されている
- ・適度にお互いの顔が見える中で、人と人との良好な関係性が築かれている
- ・一人ひとりがその個性と能力を磨くことができ、それを発揮するチャンスがある

定義しなおすと…

人や地域等の間に良好な関係性が築かれている中で、市民一人ひとりが生涯を送る上で不可欠な安定的な生活基盤が確保されていることはもとより、心の豊かさが満たされ快適で充実した状態



以上の状態の暮らしをイメージさせる言葉として、文字通りの「すこやか」になぞらえて「**すこやかな暮らし**」と定義するものとする。

○将来都市像の設定

将来都市像:すこやかなまち～人と地域が輝く上越～

「すこやかなまち」とは、以上で整理した「すこやかな暮らし」を現在、そして将来の市民一人ひとりが送ることができる条件を備えたまちのことである。

「人と地域が輝く」とは、目標とする「すこやかなまち」の姿を、市民（人）と地域の状態に焦点を当て、よりイメージしやすいように言い換えたものである。

ここでの「人」とは市民一人ひとりであり、「地域」とは、市民が暮らしている身近な地域から、上越市全体までの様々な階層の地域を念頭においている。

「輝く」とは、現時点においても当市は、「すこやかなまち」の条件を一定程度満たしているとも考えることができるが、これからの市政では、そのような状態を一層高めるとともに、市民一人ひとりにとって実感を持ってもらえるようにしていくこと、対外的にもそのようなまちとしてのイメージを発信・定着していくことが必要であるとの認識を表現したものである。

また、当計画の推進により、市が一丸となって、その輝きを一層強いものにしていきたいという決意と、市民に向けたメッセージも込められている。